

令和3年度まちづくり未来事業の主な取り組みについて

1 門前町歴史まちづくり推進事業（事業 No. 1 継続） 11,687 千円

【令和3年度の取組内容】

前年度に引き続き、良好な景観の整備促進と魅力発信協議会が実施する住民意識醸成活動等への支援に取り組む。

- ①（継続）門前町手向地区まちなみ整備事業補助金（補助率 2/3、上限 300 万円） 9 件
- ②（継続）門前町歴史まちづくり活動支援補助金（出羽三山魅力発信協議会補助金）

【これまでの実績】

- ① 4年間の修景事業実施により、特に随神門前から桜小路集落にかけてまちなみの連続性や統一感が向上し、成果が目に見える形で現れており、景観に対する住民の関心も高まっている。

H29 年度実績 6 件 10,219 千円

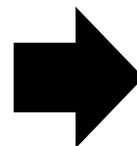
H30 年度実績 7 件 9,427 千円

R 元年度実績 6 件 7,277 千円

R 2 年度実績 6 件 9,359 千円



車庫改築事業
(令和2年度
補助事業実績)



- ② 「出羽三山魅力発信協議会」への活動支援を平成26年度から継続してきたことで、講演会や賑わいづくり活動等への住民の参加意識が少しずつ向上している。

2 松ヶ岡開墾 150 年記念事業 地域振興ビジョン推進支援事業（事業 No. 2 拡充） 2,800 千円

松ヶ岡開墾 150 年を契機として、全庁が連携し、地元との協働により、日本遺産の構成地としての価値と魅力をさらに高め、将来における発展基盤（レガシー）の構築と地域力の向上を目的とした事業を展開する。

【令和 3 年度の実施内容】

- ① 松ヶ岡開墾 150 年記念事業の全体調整
- ② 松ヶ岡地域実行委員会が主催する記念式典および講演会等への支援
- ③ 歴史や文化の維持・継承と交流人口の拡大を目的とし、令和 4 年度以降の地域活性化も踏まえた地域住民主体の取り組みに対する支援
 - i) 賑わいづくり事業
 - ・「松ヶ岡地域振興ビジョン」に基づく各種イベントの実施等
 - ・松ヶ岡開墾 150 年記念事業の開催
 - ii) 魅力発掘・促進事業
 - ・松ヶ岡茶再生プロジェクト
 - iii) 松ヶ岡開墾 150 年 P R 事業
 - ・記念パンフレット、動画制作等

3 いでは文化記念館環境整備事業（事業 No. 3 継続） 4,080 千円

丑年御縁年、東北 DC の機会も活かし、観光情報発信機能と文化学習体験機能を併せ持つ複合施設としての利用者数を増やすため、以下の取組を行う。

- ① 運営企画会議（仮称）の創設
- ② タッチパネル展示設備の設置

4 出羽三山精進料理魅力発信事業（No. 8 継続） 500 千円

羽黒地域の重要な観光資源のひとつである精進料理の食文化を発信することを目的として、丑年御縁年で来訪する観光客・参拝者等向けに情報発信を行うとともに、食を通して出羽三山の文化を体験することができるミールキット等の開発などの取組みを支援し、後日の来訪と文化の発信を促す。

- ① 情報発信費
- ② 会議費
- ③ ミールキット等開発・PR 費

5 出羽三山丑年御縁年誘客対策事業（事業 No. 9 新規） 2,300 千円

お参りすると12年分のご利益が得られるという丑年御縁年に加え、松ヶ岡開墾150年、東北DCも重なる絶好の機会を活かすため、各種誘客事業の支援を行う。

- ① 丑年御縁年 PR 事業への支援
(PR グッズ作成等について羽黒町観光協会へ補助)
- ② いでは文化記念館割引券等発行 (印刷費)
- ③ 松ヶ岡・羽黒山連携事業 (印刷費)

6 松ヶ岡開墾場周辺環境整備事業（事業 No. 10 新規） 18,000 千円

本事業は、松ヶ岡開墾150年記念事業～令和4年度以降につながる発展基盤（レガシー）構築の取り組みとして、開墾場エリア内の安全性や利便性の向上、さらには周辺施設の回遊性を向上させることを目的にした通路整備と多目的広場整備の周辺環境整備を行うものである。

事業を通じて、住民の日常生活における安全性や利便性の確保による良好な住環境整備が図られ、新たな施設回遊動線の形成によって松ヶ岡開墾場の魅力や価値がさらに高まる。

【事業概要】

通路整備

- ・ 史跡外の園内通路を整備 (L=65m W=2m)
- ・ 車道幅 4m 幅の狭小な南側道路に、2m 幅の通路を加え整備 (L=305m W=2m)

多目的広場整備

現農村公園の一角を、駐車帯を含む多目的広場として整備

【事業期間】

令和3年度から令和4年度（2カ年）

【事業内容】

- ・令和3年度 用地取得、補償、測量・基本・実施設計
- ・令和4年度 本工事、通路整備、多目的広場整備

安全性の確保

利便性の向上

回遊性の向上



7 羽黒地域観光案内看板設置事業（事業 No. 14 新規） 4,000 千円

羽黒山バイパス整備をきっかけとして、道路沿いにある観光看板の整理・統合を行う。

- ①現状にそぐわず不要な看板の0撤去
- ②老朽化しているが今後も必要な看板の更新

8 羽黒地域アスパラガス産地再生事業（事業 No. 15 継続） 380 千円

ピーク時には約 400 kg/10a あった羽黒地域のアスパラガスの収穫量は、平成 25 年の豊作後、翌年作の株養成が不十分であったことと病気の蔓延により約 100 kg/10a まで減少した。また、担い手不足により作付面積が減少している。

そのため、JAと連携しながらアスパラガスの新規植栽に伴う苗と堆肥の購入に対して補助し、反収の回復とそれに伴う販売額の増加により産地復興を目指す。

【補助率】

- ・アスパラ苗代：15%
- ・堆肥散布：50%（10a 当たりの上限 15,400 円）

【これまでの補助実績】

年度	アスパラガス植栽		堆肥散布		補助金額
	件数	面積	件数	面積	
R1	13 件	260a	6 件	102a	337,900 円
R2	9 件	193a	3 件	62a	251,600 円

9 羽黒地域「ブルーベリーの里」づくりプロジェクト事業（事業 No. 16 新規） 800 千円

ブルーベリーは、羽黒地域の中山間地における特産果樹であり、観光資源としても期待される。そのため、「ブルーベリーの里づくり」を目指し、さらなるブランド力強化と産地拡大が必要である。

そのため、ふるさと寄附金インセンティブを活用し、「ブルーベリーの里づくり」プロジェクト事業として、アクションプラン作成、ブランド力の強化、収穫作業での人手不足を補うサポーターづくりに取り組み、中山間地農業の振興につなげていく。

【令和3年度の事業内容】

- ① ブルーベリーの里づくりアクションプランの作成
- ② ブランド力強化支援（プロモーション用パンフレット作製補助、プロモーション用化粧箱資材補助）
- ③ サポーターづくり支援（収穫時の労働力確保）